

1 公開授業実施日時	2017年11月25日(土) 9:05~9:55
2 場所	京都教育大学附属高校 1年5組教室
3 対象	1年5組 (高校1年生) 40名
4 授業者	高田敏尚
5 島名	グローバル・エシックス
6 単元名	国際化と私たちの課題
7 関連する教科・領域	現代社会
8 単元の目標・ねらい	4月に行った地球bingoをうけて、認識が深まったグローバル課題について、その再確認をさせる。
9 グローバル・スタディーズとしての目標・ねらい	グローバル化した社会の現状を読み解き、課題を多元的な視点から捉えることができる。
11 単元の評価規準【教科・領域として】	生徒自身が、グローバル化をより身近に自分のものとしてとらえられるか。
12 単元の評価規準【グローバル・スタディーズとして】	グローバルな視野にたって、物事をとらえているか。
13 単元計画	全2時間 第1次 グローバルbingo 第2次 モノからみた国際化 (本時)
14 本時の目標	自分が教室に持ち込んだモノと世界とのつながりを、よりわかりやすく他者に伝えることができている。
15 本時の展開	«別紙指導案を参照»
16 グローバル・スタディーズとしての特徴	身近なモノを通じて世界との関わりに気づくことができているか。
17 授業者から一言	欧米だけに焦点をあてたグローバル化ではなく、発展途上国とのつながりや文化、情報面でのグローバル化に気がつけばいいのですが。

# 本日の授業のながれ

2017年11月25日（土）1限 『現代社会』 1年5組

授業者：高田敏尚

## 私たちとグローバル化の課題

区分	
導入 5分	前時で「国際化を示すモノ」をもってこさせて、6人グループを作り、それぞれのモノをグループ内で報告してもらった。その際のポイントは①私の目のつけどころ、②ここはいいよ！（こんな発見をしました）の2点。そうやって選ばれた6人による発表をしていく。 その発表の準備時間にあてている。準備物としてOHPも配置。
展開 1 35分	T：前回選んだ各グループの「国際化を示すモノ」をOHPを利用してみんなに報告してもらいます。時間は3分以上5分未満。 では発表をお願いします。  S 1：日本のアニメ この生徒は5月に「あなたにとって国際化ってどんなこと」という問い合わせ 「ものや人の流れが国を超えて活発に行きかうようにすること」と答え、 アクティビティの後に、もう一度たずねると 「ものの流れが世界の中心の点に集まるのではなく、各地へ広がる」と答えている。 T：これが選ばれた理由は？ 国際化とどう関わっているの？  S 2：スマホのアプリ 「海外の人と簡単に交流することができる」 →「様々なものや情報などが違う国でも使ったり見たりできる」 S 3：くつ 「今まで国内で起こっていた出来事が世界中を巻き込んで起こっている」 →「今もこのように他の国とのつながりが感じられること」 S 4：くつ 「世界の人々とつながること、異国の文化に触れること」 →「国境や海を超えて、文化や物が伝わり、世界の人々とつながること」 S 5：本 「いろんな国と接したり交流すること」 →「自分にいろいろな外国からの情報や製品が届く、外国人が国を出入りする」 S 6：自転車 「自國の人だけでなく、海外の様々な国の人たちと関わっていくこと」 →「他の国（交流や情報の少ない国とも）と様々なことを通じて繋がり関わっていくこと」
展開2 5分	T：生徒が持っているワークシートに「どの班の発表が「国際化」についてよくわかったか記入。その理由も書かせる。 さらに、別紙プリントを配布し、何が日本の順位を下げているのか考察させる。
まとめ 5分	S：展開2の考察と、4月の授業をふりかえって、国際化について、いま思うことを書く。

## 本日の授業のながれ

2017年4月20日(木) 5・6限 『現代社会』 1年5組  
グローバル化を考える—グローバルビンゴを楽しむ

授業者：高田敏尚

区分	
導入 5分	ワークシートの問い合わせ「あなたにとって「国際化」ってどんなこと？」を記述させる。
展開 1 10分	T：本日のワークシート（A4 グローバル世界を楽しもう）を配布、読ませたあと、海外（外国）に関する問い合わせと答えであることを説明する 右下に1ヶ所、空白の問い合わせがあり、この部分を各自で完成させる T：右下の各自が考えた問い合わせを、数人の生徒を指名して読ませる  T：筆記用具と貴重品、そしてワークシートを持って移動することを指示  晴天なら中庭、雨天なら展示ホールに生徒は移動
展開 2 15分	T：これはbingoゲームであることを説明 それぞれの問い合わせについて、友人にインタビューをしてワークシートに書き込む たて、よこ、ななめに4人の人をみつければよい、その時、必ず握手をし、1対1の会話をすることを指示 また、各1列のなかに異性が必ず含まれることもルールであることを説明  S：開かれた空間のなかで、最初は緊張しているが、各自が握手をして当該者をみつける  S：bingoになったら、指導者のもとにきて確認をうける T：異性が含まれていることや、気になる回答をしている生徒の氏名などをチェックする bingo達成者2位までの生徒に教室に戻り黒板に世界地図を書いておくことを指示 S：それぞれが、ワークシートに書かれた人物を探す T：適当なところで切り上げて、教室に戻る
展開 3 15分	T：さきほどチェックした気になる回答について確認 「英語以外の言葉を話せる」人をみつけた人は？ S：英語以外の言葉を紹介する T：各自のマイクエスチョンを答えた人を探す S：各自のマイクエスチョンの質問と、回答を紹介 T：（黒板の世界地図をみながら）次のような人をみつけた人は、黒板の世界地図の「その国の場所」にドットをうちにくることを指示 左の地図には「外国のアーチスト」、右の地図には「外国製品」と指定し、それぞれの問い合わせの答えを みつけた人は前にでて、作業をする  T：この2つの地図を見て、どのようなことがわかるでしょう
まとめ 5分	T：授業のはじめに渡したワークシートの空白部分に ○には「2つの世界地図をみて気づいたこと」、△には「あなたが最初にイメージしたグローバル化」 が変化したか（その理由）、変化しなかった（その理由）」そして、■には「この授業の感想」を記入して提出することを指示